

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
総括研究年度終了報告書

希少疾病・難病等の分野における診療ガイドライン等の評価に資する研究
（COPD診断と治療のためのガイドライン2022に関する研究）

研究代表者 堀田信之 横浜市立大学 附属病院化学療法センター 講師

研究要旨

一般社団法人日本呼吸器学会と連携し、COPD診断と治療のためのガイドライン2022を作成した。

A 研究目的

地域医療基盤開発推進研究事業の一部として診療ガイドライン等の評価を検討することとなっていた。本邦の日常診療においてCOPDのガイドラインが必要であり作成した。研究代表者堀田らは、Clinical Questionパートを担当した。

B 研究方法

Minds診療ガイドライン作成マニュアル2020 ver. 3.0に従いシステムティックレビューを行い、データ提示の後、ガイドライン作成委員会で投票を行い、推奨を決定した。

（倫理面の配慮）既存のデータを用いた研究であり、倫理面では特に問題を認めなかった。

C 研究成果

- CQ01 安定期COPDに対するLABA使用下のSAMAの併用を弱く推奨する
- CQ02 安定期COPDに対して、LAMAによる治療を行うことを強く推奨する
- CQ03 安定期COPDに対して、LAMAを弱く推奨する。
- CQ04 呼吸困難や運動耐容能低下を定数r安定期COPDに対して、LABAあるいはLAMAよりもLAMA+LABAを弱く推奨する。
- CQ05 安定期COPDに対して、LAMA+LABAを弱く推奨する。
- CQ06 増悪を繰り返す患者に対して、LAMA+LABAにICSの追加を行うことを弱く推奨する。
- CQ07 LABAs吸入加療中の安定期COPDに対して、テオフィリンの追加治療を行うことを弱く推奨する。
- CQ08 安定期COPDに対して、喀痰調整役を弱く推奨する。
- CQ09 好酸球の増加している安定期COPDに対して、生物学的製剤を行わないことを強く推奨する。
- CQ10 安定期COPD患者に対して、禁煙を行うことを強く推奨する。
- CQ11 安定期COPDに対して、肺炎球菌ワクチンを行うことを強く推奨する。
- CQ12 安定期COPDに対して、運動療法を含む呼吸リハビリテーションプログラムを行うことを強く推奨する。
- CQ13 安定期COPDに対して、栄養補給療法を行うことを弱く推奨する。
- CQ14 低酸素血症を伴う安定期COPDに対して、酸素療法を行うことを弱く推奨する。
- CQ15 抗二酸化炭素血症を伴う安定期COPD患者に対して、NPPV実施を弱く推奨する。

D 考察

一般社団法人日本呼吸器学会と連携し、COPD診断と治療のためのガイドライン2022を作成し、本邦の日常診療に有用であると考察する。

E 結論

一般社団法人日本呼吸器学会と連携し、COPD診断と治療のためのガイドライン2022を作成した。

F 健康危険情報

該当なし

G 研究発表

COPD（慢性閉塞性肺疾患） 診断と治療のためのガイドライン2022（第IV章 Clinical Question）. メディカルレビュー. 東京. 2022

H 知的財産権の出願・登録状況

該当なし